春工だより

2026
1113
No22
By生徒会

日本の書道がユネスコ無形文化遺産に登録されるそうです。芸術としてだけでなく日常生活で文字を手書きする習慣を広く対象としているそうです。
春工でも授業で書道をやっています。
やっぱり手書きの文字がいいんですね、パソコンに頼らず、手書きの文字を大切にしましょう。

赤い羽根募金総額9千825円 ご協力ありがとうございました。

皆さんから頂いた大切なお金は、生徒会執行部で責任を持って春日井市共同募金委員会に届けます。そして、地域の福祉に役立てられます。





春日井まつり「パルケdeキッズ」楽しかったです。

春日井まつりのパルケdeキッズは好天に恵まれ大盛況、沢山の子供たちと一緒に「世界に一つだけの宝物」を作ることができました。ボランティアの皆さんありがとうございました。





三年生を送る会のステージ企画検討始めます。

来年2月3日に3年生を送る会を実施します。卒業する3年生をお祝いして全校生徒で過ごす楽しい50分間です。

そこで、生徒会では楽しい企画を検討中、まずはステージ企画を検討します。

ダンス、弾き語りバンド等企画募集します。







生徒会機関紙「あゆみ」の作品募集します。

生徒会機関紙「あゆみ」は今年一年の春工の全ての思い出を一冊の本にぎゅっとまとめるものです。

クラス、部活動、生徒会行事はもちろん、みなさんの自由な作品も掲載できます。趣味の写真、イラストなんでも応募してください。皆さんからの傑作をお待ちしています。

表紙イラストも募集します。





11月18日(水) 16時から正門花壇を整備します。 お手伝い大歓迎！



33組の香山さんと12組の中野さんが中日新聞(11月6日付朝刊)で紹介されました。※新聞社掲載許諾済み

テコンドー全国V、準V喜び

春日井工科高の2人 持ち味キラリ

7月に開かれた全日本ジュニアテコンドー選手権大会で、優勝した春日井工科高3年香山恭子さん(17)と、準優勝だった同校1年中野裕陽さん(16)が2日、春日井市役所を訪れ、結果を報告した。

2人は春日井市の道場「チームイスカンダル」で練習を重ねる。香山さんは先に競技を始めた兄と姉の背中を追い、幼稚園年長で競技を始めた。筋トレで鍛えたパワーを武器に、前回大会準決勝で敗れた相手に大差で勝ち、リベンジを果たした。「試合で動けるよう汗だくになるまでアップした」と勝因を明かす。

同じく幼稚園から競技を続ける中野さんは、相手の隙をつくプレーが得意。「試合を楽しもうと思ったが、決勝は緊張して焦ってしまった」と振り返る。

2人は石黒直樹市長の前で足技を披露。石黒市長は「壁を乗り越えることが自信につながる。さらに上を目指して続けてほしい」と話した。(横田佑紀乃)



足技を披露する香山さん右と中野さん＝春日井市役所で

クラス紹介
3年6組



担任　黒木　先生
副担任　千田　先生

1. 担任はどんな先生ですか？
　優しくて、教え方が丁寧・分かりやすい・生徒に合わせてくれるすごく良い先生

2. クラスはどんな雰囲気ですか？
　メリハリがある。書いた当時（9月15日）は面接指導を友人同士でしていた。

3. クラスが盛り上がるような時は？
　歴史の和田先生がぽろっとネタをかましたとき。

4. クラスの自慢したいところ、ダメなところはありますか？
　自慢…みんな素行が良いので休み時間が過ごしやすい
　ダメ…消極的な子が多い

5. 今、クラスで流行っていることはありますか？
　みんな課題研究に夢中！

クラス紹介
1年6組



担任　佐々木（芳）　先生
副担任　伊藤（勝）　先生

1. 担任はどんな先生ですか。
　優しくて接しやすい先生です。

2. クラスはどんな雰囲気ですか？
　にぎやかで、明るくて、元気なクラスです。

3. クラスが盛り上がるような時、行事、授業はどんなときですか？
　盛り上がるときは先生も一緒に盛り上げて授業するときや行事などの役割を決める時などです。

4. クラスの自慢したいところ、ダメなところはありますか？
　自慢したいところは元気で明るいところで、ダメなところはチャイムなり終わっているのに授業の準備をしていないところです。

5. 今、クラスで流行っていることはありますか？　堀大輔、ブロスタ



○写真部「高校生の写真展」奨励賞受賞

第39回愛知県高等学校文化連盟名北支部主催「高校生の写真展」で34組の長谷川さんの作品「冬山」が奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。



長谷川さんの作品「冬山」

○電子工学科の3年生がロボットアイデア甲子園で奨励賞

36組の宮原さんがロボットアイデア甲子園で奨励賞とSMC株式会社賞を受賞しました。おめでとうございます。

○部活動公式戦の予定。応援よろしくお願いします。

部活動	月/日	会場	大会名（簡易表示）
卓球	12/19	北スポーツセンター	愛知県冬季卓球新人大会
バスケットボール	1/9.10.16	中村SC他	愛知県高等学校新人体育大会バスケットボール競技

「三河縞」

これは映画「わたの町応答セヨ」の中のワンフレーズです。

愛知県東部にある蒲郡市はかつて繊維産業が盛んで「ガチャまん」という言葉が生まれ、機織り機が一回ガチャンと音を立てるたびに一万円儲かると言われるほどでした。

ところが、日本の繊維産業は海外の安い製品に奪われ衰退していきました。

そこで蒲郡市は繊維の街蒲郡をもう一度蘇らせようと、映画会社にドキュメンタリーの製作を依頼します。

制作スタッフはわずかに残った機織り職人や市役所の担当者と共に綿を収穫するところから布になるまでの工程を取材し三河木綿の素晴らしさを記録に残します。

その勢いは増して、東京ガールズ・コレクションやロンドンの展覧会にも出展し、日本人にしかできない世界一の木綿「三河縞」の素晴らしさを示すのでした。